

滝の原便り

社会福祉法人西仁会 広報誌

〒320-0851 宇都宮市鶴田町3381

TEL 028-632-7577

テクノロジーに依存した日本の夏

毎日の酷暑で日本中が冷房依存になっていますが、この夏にふさわしい怖い話です。

アーノルド・シュワルツェネッガーメンの映画『トータル・リコール』をごらんになった方は多いと思われます。彼が訪れた火星の大気には酸素がなく、住民は地下ドームの中で生活しています。政府が管理する酸素供給システムに住民の生存は完全に依存し、そのシステムが停止すれば即座に全員が死に至るという恐ろしい世界でした。この映画で描かれた世界は、現代の私たちの生活、特に日本の猛暑における冷房への依存を考えると、決して他人事ではないように感じられます。

日本の夏は、もはや冷房なしでは健康を維持し、生存することすら困難なレベルに達していると言えるでしょう。熱中症による救急搬送や死亡のニュースは、毎日のように報じられ、冷房はもはや贅沢品ではなく、生命維持のためのインフラの一部と化しています。しかし、電気や機械などのテクノロジーへの絶対的な依存は、いつか破綻し、悲劇的な災害を招く危険性をはらんでいるではないでしょうか。

現代社会は、電力、通信、交通、医療など、あらゆる面で複雑なテク

ノロジーに深く依存しています。これらのシステムは、私たちの生活を豊かにし、利便性を向上させましたが、同時に、その脆弱性も内包しています。

例えば、電力供給網の破綻は、最も直接的な脅威の一つです。大規模な自然災害（地震、台風、洪水など）や、サイバー攻撃、あるいは老朽化したインフラの故障によって、広範囲の停電が発生した場合、冷房だけでなく、冷蔵庫、医療機器、通信手段など、生活の基盤となるあらゆる機能が停止します。真夏の停電は、特に高齢者や乳幼児、基礎疾患を持つ人々にとって、文字通り命の危機に直結するでしょう。これは、火星の酸素供給停止と本質的に変わらない状況を生み出す可能性があります。

また、テクノロジーへの依存は、私たちの適応能力やレジリエンス（回復力）を低下させる側面も持ちます。かつては当たり前だった、自然の風を取り入れる知恵や、日中の暑さを避けて活動する生活様式、地域コミュニティでの助け合いといった、生活の知恵に根差した生存戦略が薄れていくことで、いざシステムが停止した際に、人々は無力な状態に陥りやすくなります。

さらに、テクノロジーの進化は、新たなリスクも生み出します。AIによる自動化が進むことで、人間の判断や介入が不要となる領域が増えれば、システムが予期せぬエラーを起こしたり、悪意のある攻撃を受けたりした場合に、誰も対処できない「制御不能な状態」に陥る危険性も否定できません。

このままテクノロジーへの依存を深めていけば、私たちは『トータル・リコール』のようなディストピアに近づくのでしょうか。そんな悲劇的な未来を避けるために、私たちは、テクノロジーの限界と脆弱性を認識する必要があると思います。電力網の分散化や再生可能エネルギーの導入によるレジリエンス強化、サイバーセキュリティ対策の徹底、そして何よりも、私たち自身の「適応力」を再構築することも重要です。地域コミュニティでの防災訓練、そしてテクノロジーに頼りすぎない生活の知恵の継承など、酷暑に対応する生活の変化が求められます。

『トータル・リコール』の火星が私たちに問いかけるのは、テクノロジーがもたらす「便利さ」の裏に潜む「危うさ」です。私たちは、その警告を真摯に受け止め、より持続可能な、いかなる事態にも対応できるしなやかな社会を築いていく責任があるのではないかでしょうか。

ファミール滝の原

子供の日 5月5日
どこか懐かしいお弁当が提供されました。おにぎりを頬張りながら、輝く笑顔が見られました。



父の日 6月15日
今年はビール風ゼリーで乾杯しました。お父さん、いつもお疲れ様です。



6月5日えび天うどん・17日大根そば
これから季節にぴったりな二種類の麺が登場しました。



ゼリーバイキング 6月29日

昨年大好評だったゼリーバイキングを今年も行いました。イチゴ味と青りんご味のゼリーに身も心も涼しくなりました。



七夕 7月7日

今年も空の星を想う日がやってきました。皆様は何を願いましたか？

七夕には、短冊にお願い事を書きました。飾りも沢山つるしてもらい、みんなの願いを叶えたい笹の葉はちょっとびり枝が重たくなっていました。



体操の後は、レクリエーションです。輪投げや通りハ流ボッチャなどで楽しく身体を動かしましょう。前回よりうまくできてうれしそうな人。みんなに応援されたら照れちゃつた人。みんないろいろだから楽しいです。



今度の壁画は何を作ろうかなと考えて、春なら藤の花をみんなで見たいねと藤を作り、夏なら水族館に行きたいねと、海を題材にしてみました。



栃木県民の日には栃木の名物料理でお祝いです。
七夕には、七夕御膳。夕ちらしと星のハンバーグ。どれもおいしそうです。



通所リハビリテーション



滝の原苑

『二どもの日』～5月5日(月)

大人ランチの提供をさせて頂きました。メニューは、こいのぼりクリームコロッケ・ミートボール・フライドポテト・厚焼き玉子・スペゲティナポリタン・コンスープ・人参サラダです。



『あじさい御膳とあじさいゼリー』6月18日(水)

県民の日という事で、皆さんで県民のうたを歌いました。生まれから栃木県の方もいらっしゃれば、結婚を機に栃木県にいらっしゃった方など入所者様のお話を伺いながら、おやつのご当地ポテトチップスとお誕生日会のケーキを頂きました。

午前水分補給…レモン牛乳 おやつ…「当 地ポテトチップスとケーキ」

『栃木県民の日・お誕生日会』6月15日(日)

県民の日という事で、皆さんで県民のうたを歌いました。生まれから栃木県の方もいらっしゃれば、結婚を機に栃木県にいらっしゃった方など入所者様のお話を伺いながら、おやつのご当地ポテトチップスとお誕生日会のケーキを頂きました。



『七夕昼食会・七夕お茶会』7月7日(月)

メニューやおやつは七夕デザート盛り合わせです。(カットケーキ・プリン・お星さまスナック盛り合わせ)

メニューやおやつは七夕デザート盛り合わせです。(エビやオクラ、星型にんじん、ハートハム等)・枝豆おにぎり・えびフライ・野菜のマリネです。



『沖縄料理』7月21日(月)

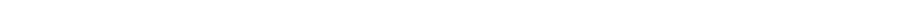
メニューやおやつは、もずくごはん・豚肉もどき汁・車ふチャンブルー・らっきょう漬物・マンゴープリンです。沖縄料理の特徴は、沖縄ならではの食材の使用です。何といっても豚肉は外せません。他にはらっきょうやマンゴーも有名です。

おやつは黒糖蒸しパンです。



さあ、五月五日、そして、七月七日。

子供の日ランチは、なんと大人ランチ。おとな、いや、じいじ、ばあばが食べても大満足のスペシャルランチでした。そして、七夕を楽しんで、きらびやかな御膳を美味しく頂きました。一階のロビーには願いのこもった短冊が、所狭しと揺れています。



△存知ですか「7割弱と7割強はどのくらい?」

ある数（かず）と、その範囲を表す言葉に「以下」とか「未満」があります。「以下」はその数を含め、「未満」の場合は含めずに、それより下の範囲を示す言葉ですが、これらの対義語としては「以上」と「超過」があります。これらの言葉が示す範囲は極めて明確であり、異なる解釈の余地はありません。

一方、同じような使われ方をする言葉として「弱」や「強」（Ex.. 50人強、弱）がありますが、こちらは「弱」や「強」が示す数値を巡って様々な解釈があるようです。広辞苑などでは『「弱」は、ある数を切り上げたときの数値で、実際はその数値よりすこし少ないことを表す』とあります。『「強」は、ある数を切り捨てたときの数値で、実際はその数値よりもやや多いことを表す』とあります。つまり、「弱」は基準となる数値よりも少なく、「強」はやや多いという説明ですが、それでは「すこし少ない、やや多い」とは、数値としてどの程度のものなのでしょうか。

NHK放送文化研究所が「7割弱」「7割強」という表現について、それらの数値の範囲（A%からB%まで）を回答する形式での調査（2023年）を行っています。その結果を見てみると、「7割弱」について、最も多かったのは「65%から」、「69%まで」という回答で、それぞれ32%、42%ありました。一方、「7割強」については、「70%から」、「75%まで」が最も多い回答で、それぞれ40%、22%ありました。この調査で得られた解釈が最も典型的なものとしていますが、ご納得いただけるでしょうか。

そうした中で「7割弱」について、通常の解釈（7割よりすこし少ない65%から69%まで）とは一致しない「70%から」という回答が10%あり、特に20代ではこの回答が約20%と比較的多い結果が得られています。若い人の中には「7割弱」を「7割と、ちょっと」と解釈している人が結構いることが窺えます。

また、若い世代では「7割強」の解釈範囲が通常の解釈（70%から75%まで）に比較し、上振

れの傾向（「75%から」と回答：25%）の傾向が見られます。

数値にこだわるような場合には少々曖昧さを有する言葉「弱、強」の使用は控えた方が良いかも知れませんね。それでも、こんなところにも世代間ギャップが見られるのですね。世代間ギャップと言えば「一丁目一番地」「よしなに」「手弁当」「全員野球」などといった言葉は若い人は伝わらないようです。こうしたギャップ解消には普段からコミュニケーションを取り合う関係でないと難しいかも知れませんね。

また、若い世代では「7割強」の解釈範囲が通常の解釈（70%から75%まで）に比較し、上振れの傾向（「75%から」と回答：25%）の傾向が見られます。

雨が明けました。西日本では統計史上最も早い6月中の梅雨明け（27日）でした。宇都宮では6月10日の梅雨入り以降梅雨らしい天候が続きましたが、数回の大雨や雷雨のお蔭でしょうか、梅雨期間（38日）の雨量は平年の113%（293mm）でした。しかし、他の地域の多くは平年より少ない降水量でした。今後暫くは晴れて厳しい暑さが続くとの予報であり、記録的少雨の北陸をはじめ、各地域のコメや野菜の品質・収穫量などへの影響がちょっと心配ですね。

8月、9月は台風や前線の影響で、大雨や暴風などによる自然災害発生リスクが高まる季節でもあります。この時期は正に台風シーズンであり、その備えも大切ですが、短時間に局地的に激しく降る「ゲリラ雷雨」にも十分な警戒が必要です。

このゲリラ雷雨の発生状況（2024年）については、昨年10月にウエザーニューズから発表がありました。それによれば、ゲリラ雷雨の発生回数は全国で約7万9千回（栃木県約2,100回）、発生のピークは8月下旬です。7月下旬と9月中旬にも多発しています。約4人に3人がゲリラ雷雨に遭遇し、そのうちの約半数以上（50.5%）が被害にあっています。その被害内容ですが、一番多かったのは交通機関に影響（約30%）、次に道路冠水（24%）、落雷による停電（約15%）などと続きます。こうした被害にあつた人の多い上位の3県（埼玉69%・栃木67%・茨城62%）では「落雷による停電」が約半数にのぼります。また、ゲリラ豪雨に遭遇した人のうち、約15%の人が命の危機を感じたと回答しています。その危機の状況については「近くに落雷」が最も多く（78%）、次いで「道路冠水で往生した」が約18%となっています。気象庁によれば、1時間降水量80mm以上、日降水量300mmなど激しく降る強い雨は、1980年頃と比較して、約2倍程度に頻度が増加しているそうです。遭遇した場合の対応は、最新の気象情報の確認と災害リスクのより少ない場所に身を置くことでしょうか。

ファミール滝の原



介護職

新入職員のお知らせ



編集雑記

7月18日、関東甲信、北陸、東北南部、翌日には東北北部で梅雨が明けました。西日本では統計史上最も早い6月中の梅雨明け（27日）でした。宇都宮では6月10日の梅雨入り以降梅雨らしい天候が続きましたが、数回の大雨や雷雨のお蔭でしょうか、梅雨期間（38日）の雨量は平年の113%（293mm）でした。しかし、他の地域の多くは平年より少ない降水量でした。今後暫くは晴れて厳しい暑さが続くとの予報であり、記録的少雨の北陸をはじめ、各地域のコメや野菜の品質・収穫量などへの影響がちょっと心配ですね。

8月、9月は台風や前線の影響で、大雨や暴風などによる自然災害発生リスクが高まる季節でもあります。この時期は正に台風シーズンであり、その備えも大切ですが、短時間に局地的に激しく降る「ゲリラ雷雨」にも十分な警戒が必要です。

このゲリラ雷雨の発生状況（2024年）については、昨年10月にウエザーニューズから発表がありました。それによれば、ゲリラ雷雨の発生回数は全国で約7万9千回（栃木県約2,100回）、発生のピークは8月下旬です。7月下旬と9月中旬にも多発しています。約4人に3人がゲリラ雷雨に遭遇し、そのうちの約半数以上（50.5%）が被害にあっています。その被害内容ですが、一番多かったのは交通機関に影響（約30%）、次に道路冠水（24%）、落雷による停電（約15%）などと続きます。こうした被害にあつた人の多い上位の3県（埼玉69%・栃木67%・茨城62%）では「落雷による停電」が約半数にのぼります。また、ゲリラ豪雨に遭遇した人のうち、約15%の人が命の危機を感じたと回答しています。その危機の状況については「近くに落雷」が最も多く（78%）、次いで「道路冠水で往生した」が約18%となっています。気象庁によれば、1時間降水量80mm以上、日降水量300mmなど激しく降る強い雨は、1980年頃と比較して、約2倍程度に頻度が増加しているそうです。遭遇した場合の対応は、最新の気象情報の確認と災害リスクのより少ない場所に身を置くことでしょうか。

7月20日の参院選で与党の自民党、公明党が大敗しました。昨年10月の衆議院選挙での過半数割れに続く与党の敗北で、与野党合意がない限り、政策を実現できない政治状況が懸念されます。国政に停滞を招くことなく与野党は議論を尽くして前に進めていくべきです。

次号は11月1日発行予定です。